



ニュースリリース
報道関係各位

ひふみ投信マザーファンドの運用責任者 藤野英人の復帰について

2022年12月23日

レオス・キャピタルワークス株式会社

投資信託「ひふみ」シリーズを運用するレオス・キャピタルワークス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役会長兼社長：藤野 英人、以下「当社」）は、2023年1月よりひふみ投信マザーファンドの運用責任者に最高投資責任者（Chief Investment Officer (CIO)）である藤野 英人を復帰させることにいたしました。なお、ひふみ投信マザーファンドの日本株の運用担当者として株式戦略部の佐々木 靖人が、世界株の運用担当者として株式戦略部の章 珊珊（ウェイ・シャンシャン）が引き続き藤野をサポートいたします。

私たちの運用哲学である、アクティブ主義「人の可能性を信じ」、フレキシブル投資「柔らかく考え」、見えない価値を見出し「心で見る」ことを通じて、お客様個人の資産形成をサポートすると同時に、社会全体へ「ゆたかさ」を還元することを目指してまいります。引き続きひふみシリーズをご愛顧いただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

■運用責任者 最高投資責任者 藤野英人のメッセージ

今年の4月に「ひふみ」シリーズの運用体制強化のためにひふみ投信マザーファンドの運用責任者を離れましたが、運用成績がお客様のご期待に沿えずご心配をおかけしましたことを大変申し訳なく思っております。約9ヵ月間を経て一度、ひふみを応援いただいたお客様の信頼を回復しご期待に応える上でも、より運用現場に近い環境で私が立て直しをするため、運用責任者の職務に戻るという苦渋の決断をいたしました。

もちろん、今回の復帰は長期にわたるものではなく、いずれ運用責任者を引き継ぐための過渡的なものですが、少なくとも運用が軌道に乗り、万全の体制が整うまでは、全責任を負い、全力で調査運用に尽力してまいります。

当社の運用チームには新たな発想・視点を持つ若手アナリストから、「足で稼ぐ運用」で培った経験、知見を持つシニア・ファンドマネージャー、シニア・アナリストがおり、定性・定量の両面から徹底的な調査・分析を行っております。我々運用チームが一丸となって、皆さまのご期待に添えるよう努力してまいりますので、これまでと同様に変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上

■会社紹介

レオス・キャピタルワークスは「資本市場を通じて社会に貢献します」という経営理念のもとに2003年に創業した資産運用会社です。ひふみ投信を始めとして運用・販売する投資信託「ひふみ」シリーズは、守りながらふやす運用でお客様の長期にわたる資産形成を応援します。また投資顧問業においては、国内外の企業年金基金、機関投資家のお客様の資産を受託、運用しております。 <https://www.rheos.jp/>



ひふみ投信マザーファンドのベビーファンドである「ひふみ投信」は当社のお客様向けとして2008年10月に運用を開始し、2012年には証券・銀行等の金融機関を通じて購入いただける「ひふみプラス」を、2016年には確定拠出年金（DC）専用投資信託「ひふみ年金」を新たなベビーファンドとして運用しております。

また、ひふみ投信マザーファンドは2021年3月より運用を開始した「まるごとひふみ15、50、100」「ひふみらいと」の投資対象ファンドの1つになります。現在、ひふみ投信マザーファンドを含む、「ひふみ」シリーズ全体の運用資産残高は1兆円を超えており、受益者数は推計約120万人、毎月のつみたて金額は約100億円（※）となります。

（※）2022年3月時点。受益者数とつみたて金額については当社直販データと販売会社アンケートによる当社推計数値の概算。

【ご注意】ニュースリリースの内容は開示時点における情報を基に作成しており、内容の正確性・完全性を保証するものではなく、また記載されている内容は予告なく変更される場合があります。投資信託は預金等や保険契約とは異なり、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標に係る変動を直接の原因として、損失が生じることとなるおそれがあります。投資信託毎にリスクや費用等は異なるため、ご購入の際は、事前に投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等の内容を十分にお読みください。